

日々はOracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年2月17日 水曜日

管理サービスと開発者ログインの禁止

Autonomous Databaseは[Restrictions and Limitations for Oracle Application Express with Autonomous Database](#)に記載のあるように

- Oracle Application Express is only available as a Full Development environment. Converting into a Runtime environment is not supported.

ということで、実行環境のみの構成はできず、必ず管理サービスと、ワークスペースにサインインしてアプリケーションの開発を行う機能が含まれます。もちろん便利なのですが、アカウントの有無にかかわらず、誰でもサインイン画面を開くことができる、というのは、やはり心配です。

たまたま、APEX_INSTANCE_ADMINパッケージのSET_PARAMETERプロシージャにて[使用可能なパラメータ](#)の一覧を見ていたら、

- DISABLE_ADMIN_LOGIN
- DISABLE_WORKSPACE_LOGIN

というパラメータが目にとまりました。それぞれ、

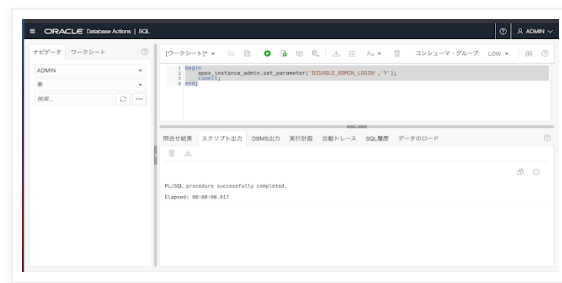
- Yに設定すると、管理サービスは無効化されます。デフォルトのNに設定すると、無効化されません。
- Yに設定すると、ワークスペース・ログインは無効化されます。デフォルトのNに設定すると、ログインは無効化されません。

とのことでした。Autonomous Databaseでも管理サービスと開発者ログインを禁止できそうです。

確認してみました。

SQL Developer WebにADMINでサインインし、管理サービスを禁止しました。

```
begin
  apex_instance_admin.set_parameter('DISABLE_ADMIN_LOGIN','Y');
  commit;
end;
```



管理サービスにアクセスすると、**不当なアクセスです。**と表示されるようになりました。サインインの画面さえ表示されません。

同様に開発者ログインを禁止しました。

```
begin
  apex_instance_admin.set_parameter('DISABLE_WORKSPACE_LOGIN','Y');
  commit;
end;
```

ワークスペースにアクセスすると、**不当なアクセスです。**と表示されるようになりました。サインインの画面さえ表示されません。

セキュリティ上の懸念がある場合は両方とも禁止すべきか、少なくとも、開発をしていないときは一時的にでも禁止しておくべきなので、積極的に使用したい機能です。

完

Yuji N. 時刻: 18:54

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.